

2025 年 9 月 8 日
CHEMIPAZ 株式会社

国内向け製紙用薬品における試験表記載および安全関連表記に係る不正と今後の対応方針について

CHEMIPAZ 株式会社（本社：東京都中央区日本橋本町、代表取締役社長：菅正道。以下、当社）は、過去に製造・販売した国内向け製紙用薬品において以下の不正が行われていた事実（以下、本件不正行為）を把握いたしました。このような事案を発生させたことは誠に遺憾であり、お客様を含む関係各位に多大なご迷惑とご心配をおかけすることとなりましたこと、心よりお詫び申し上げます。

- 1) お客様と合意した試験を実施せずに、出荷時に提出する試験表へ製品毎の固定数値を記載、または異常なしと記載
- 2) 本来記載すべき測定結果値を改ざんして出荷時に提出する試験表へ記載。本改ざんに関連して、安全データシートへ事実と異なる情報を記載。さらに同理由により製品ラベルへ事実と異なる情報を記載

つきましては、本件不正行為に関し、これまでの社内調査で判明した内容と実施済みの是正措置を速報としてご報告させて頂くとともに、併せて今後における当社対応方針について、下記のとおりお知らせいたします。

1. 本件不正行為発覚から現在までの経緯

表 1 経緯

2025 年 7 月	国内向け製紙用薬品における発行済試験表の数値が毎回同一である不自然な状況が確認されたとの社内報告を受ける
	当社グループ全体において試験検査に関する緊急調査開始（現在も進行中）
2025 年 8 月	国内向け製紙用薬品の 5 つの試験項目において表 2 に記載の不正が判明
2025 年 9 月 1 日	当社取締役会で状況報告
2025 年 9 月 4 日	上記 5 つの試験項目の内 1 項目に関連して、安全データシートおよび製品ラベルへの記載の不正が判明（表 2 に詳細を記載）
2025 年 9 月 8 日	本件不正行為と今後の対応方針に関するお知らせ（本書）

2. 対象製品および影響範囲

当社は、上記発覚を受け、直ちにグループ全体で緊急調査を実施いたしました。その結果、判明した不正行為の内容は表 2 に記載の通りであり、国内向け製紙用薬品で本件不正行為が行われておりました。不正対象製品の売上は当該事業売上全体の 4%相当ではありますが、本件不正行為はお客様や社会からの信頼を大きく損なう行為であったと認識しております。不正開始時期については、表 2 の項目番号 1 については 2007 年以降継続していたことが判明しておりますが、それ以外の項目については発生時期が明確には判明しておらず、継続して調査してまいります。また、現時点で国内向け製紙用薬品以外に同様の不正行為は発見されておりません。今後も当社グループ内の全試験・検査について徹底した調査を継続し、新たな不正行為が発見された場合には改めて報告いたします。

なお、当社にて対象製品の安全性・品質等への影響について検討した結果、表 2 の項目番号 2～5 の項目について重大な影響が生じる可能性は低いと考えております。表 2 の項目番号 1 の項目については、その影響について該当するお客様と協議中であり、公表すべき影響を認識した場合には速やかに報告いたします。

表2 本件不正行為の内容

項目番号	不正行為対象、対象製品、不正内容	
1	中項目番号	1-1
	不正行為対象	当社試験表のフリーホルマリン含有量数値
	対象製品	(国内向け製紙用薬品) 耐水化剤 SI6460, SI6462
	不正内容	フリーホルマリン含有量の試験結果がお客様の参考規格範囲を超えた際に、参考規格範囲に収まるようにデータを改ざんして当社試験表へ記載
	中項目番号	1-2
	不正行為対象	特定のお客様が指定した安全データシート
	対象製品	(国内向け製紙用薬品) 耐水化剤 SI6460, SI6462
	不正内容	中項目番号 1-1 に関連して実際よりも低いホルムアルデヒド濃度に基づいた情報を記載
	中項目番号	1-3
	不正行為対象	安全データシート
	対象製品	(国内向け製紙用薬品) 耐水化剤 SI6460, SI6462
	不正内容	中項目番号 1-1 に関連して実際よりも低いホルムアルデヒド濃度に基づいた情報を記載
	中項目番号	1-4
	不正行為対象	製品ラベル
	対象製品	(国内向け製紙用薬品) 耐水化剤 SI6462
	不正内容	中項目番号 1-3 に関連して実際よりも低いホルムアルデヒド濃度に基づいた情報で製品ラベルを作成し、製品へ貼り付け出荷
2	不正行為対象	当社試験表の比重数値
	対象製品	(国内向け製紙用薬品) 湿潤紙力剤 WS4002, WS4020, WS4024, WS4030, WS4050, TS4070 サイズ剤 AL-120, AL1200, AL1203, AL1300, AD1602, AD1612 I J 耐水化剤 DK6800, DK6852 耐水化剤 SI6460, SI6462 表面サイズ剤 SE2012 紙力剤 T-DS704 クレープ剤 CA6012 層間スプレー用紙力剤 PB5404 濾水歩留剤 RD7170 その他 RKS-25, RK-570
	不正内容	試験を実施せずに試験表へ製品毎の固定数値を記載
3	不正行為対象	当社試験表の溶解性試験結果
	対象製品	(国内向け製紙用薬品) 表面サイズ剤 SS2702, SE2202 紙力剤 DH4160, DH4192
	不正内容	試験を実施せずに試験表へ「異常なし」と記載
4	不正行為対象	当社試験表のゲル化試験結果
	対象製品	(国内向け製紙用薬品) 紙力剤 DA4138
	不正内容	試験を実施せずに試験表へ「異常なし」と記載
5	不正行為対象	当社試験表の Gel Test 結果数値
	対象製品	(国内向け製紙用薬品) 濾水歩留り剤 RD7120
	不正内容	試験を実施せずに試験表へ固定数値を記載

3. 実施済みの是正措置等

- ・試験を実施せずに固定数値等を試験表へ記載していた項目（表2の項目番号2～5）については、2025年8月に不正が判明後、即日試験を実施するように是正いたしました。また本件不正行為の対象となる出荷済製品については、お客様へのご連絡を進めるとともに、必要に応じて交換・回収等の対応を行う旨、お伝えいたしております。
- ・試験結果がお客様の参考規格範囲を超えた際に、参考規格範囲に収まるようにデータを改ざんして試験表へ記載していた件（表2の中項目番号1-1）、安全データシートへの虚偽記載（表2の中項目番号1-2, 1-3）および製品ラベルへの虚偽記載（表2の中項目番号1-4）については、お客様にお詫びとご説明を申し上げ、現在、今後の対応について協議を開始させて頂いております。

4. 原因調査究明

- ・本件不正行為の原因・真因についての徹底した調査と再発防止策の策定を目的とした調査委員会を可能な限り速やかに設置いたします。調査委員会は、調査の公正性・客観性を確保するため、社外から選定した委員が主導する体制とする予定です。
- ・上記調査委員会設置までの期間は、引き続き社内調査を進め、同調査委員会設置後、速やかにその結果を引き継ぎ、同委員会の調査が迅速かつ有効に実施されるようにいたします。

5. 再発防止

- ・上記調査委員会による原因究明と再発防止策提案を待ちますが、当社としては、既に脆弱な品質保証体制、社員のコンプライアンスに関する意識・責任感の欠如、過去からのやり方に疑問を持たない組織風土など、改善すべき問題を認識しております。これらについては社内で速やかに改善・改革を進め、さらに調査委員会の調査結果と再発防止策の提案を受けた後に、さらなる改善・改革を図ってまいります。

改めまして、お客様を含む関係各位に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

（本件に関するお問い合わせ先）

CHEMIPAZ 株式会社 サステナブルマテリアルズビジネスユニット

Email : Info-quality@chemipaz.co.jp

電話 : 03-6202-7338

以上